

平成 30 年度 社会福祉法人愛光園

事業報告書

(令和元年 6 月 21 日)

平成30年度 事業報告書

1. 総括

障がい福祉の流れが“集団から個の支援へ”、“施設から地域へ”と変化していく中であって、施設のあり方はハード面からの支援から、職員の資質向上が求められる時代に入っております。当然職員の人材育成は大変重要な課題であると共に、責任ある姿勢が必要になってきております。

一方で昨今の人材不足は想像を超える程の状況であり、拡大し続けている当法人にあっては、人材の採用が急務となっております。

幸いなことに、人材育成の面においては、一昨年法人内に発足した介護・就労・居住・地域支援の4部会は、それまでの事業所毎の、いわゆる縦割りからの枠組みを超えた職員間の人間関係の構築と啓発について、予想以上の効果を生んでおります。

新規の事業として、猿田事業所ではフルーエが4月に開所したのに続き、共同生活援助事業所“ホームだんけ”が10月に定員9名でオープンし、すでに満室となりました。

就労系サービスでは基幹であるクリーニング事業は順調に推移してきており、昨年末には折角の新規増の取引の打診も容量オーバーになることが見通されたため、受入を見合わせたということもありました。誠に残念ではありますが、利用者に対し、過大な作業量の増加という負荷はかけられないという判断をいたしました。

また、クリーニング以外の就労において、食品事業および施設外就労に取り組んでおりますが、今般館林市において、300年を超す伝統のある和菓子の製造・販売をしてきた“三桝屋總本店”から、年度末に事業譲渡を受け、いわゆる“伝福連携”を実践する計画となっております。

以上のように、平成31年（令和元年）度へ繋げられる意義深い年度となりました。

2. 各事業所毎の状況

(1) 稲岡事業所

ア、就労系サービス《愛光園（就労継続支援B型）》・《共働舎（生活介護）》

a 概況

- ・朝礼や終礼で、利用者に関わる情報提供や共有をする事で、職員間において同じ意識で利用者支援が行えました。
- ・全体としてクリーニングの取引の量は増加しており、それに合わせた利用者の生産量の向上を目指し支援を行いました。
- ・職員のコスト意識や清掃に対する意識も定着し、効率の良い綺麗な工場体制の維持が行えました。（工場内のワゴン整理含む）
- ・工場内に丸パイプを使用した棚を作成し、工場内の整備とワゴン台数の削減等が行えました。
- ・工場内の床面を職員で塗装する事で、工場内の美化活動が行えました。
- ・平日に少人数で日帰り旅行を実施する事で、比較的空いている状況で観光施設等が利用出来て有意義な活動になりました。
- ・誕生月の利用者の外食行事（予算内で昼食を利用者が選択する）を行い、好評でした。
- ・法人内のグループホームと利用者状況を共有し、夜間・日中活動で連携して対応しました。（個別会議への参加）
- ・インフルエンザ等の感染症対策（マスクの着用・手指消毒の徹底・取っ手等の消毒）を早い時

期から行う事で、感染症の症状で休む利用者もほとんど出ず、サービスの提供が行えました。

- ・平成 30 年度平均工賃

愛光園（就労継続支援 B 型）：25,035 円

b 利用者数の推移

《愛光園（就労継続支援 B 型）》

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数 ①		40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480	40.0
開所日 ②		25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310	25.8
延べ利用者数 ③		987	1,061	1,053	1,089	1,097	1,042	1,124	1,104	1,077	1,062	981	1,060	12,737	1,061.4
計 ④		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④) ⑤		987	1,061	1,053	1,089	1,097	1,042	1,124	1,104	1,077	1,062	981	1,060	12,737	1,061.4
一日当たり平均利用者数(⑤/②) ⑥		39.5	39.3	40.5	41.9	40.7	41.7	41.7	42.5	41.5	42.5	40.9	40.8		41.1
平均利用率(⑤/①：小数点第2位以下切り上げ) ⑦		98.8%	98.3%	101.3%	104.8%	101.8%	104.3%	104.3%	106.3%	103.8%	106.3%	102.3%	102.0%		102.8%

《共働舎（生活介護）》

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数 ①		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20.0
開所日 ②		25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310	25.8
延べ利用者数 ③		502	522	505	515	509	507	574	571	560	535	514	563	6,377	531.4
計 ④		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④) ⑤		502	522	505	515	509	507	574	571	560	535	514	563	6,377	531.4
一日当たり平均利用者数(⑤/②) ⑥		20.1	19.4	19.5	19.9	18.9	20.3	21.3	22.0	21.6	21.4	21.5	21.7		20.6
平均利用率(⑤/①：小数点第2位以下切り上げ) ⑦		100.5%	97.0%	97.5%	99.5%	94.5%	101.5%	106.5%	110.0%	108.0%	107.0%	107.5%	108.5%		103.0%
平均障害支援区分	区分													前延べ利用日数	前延べ区分
	2	30	31	31	30	29	30	31	30	31	28	28	31	360	
	3	145	146	145	149	135	115	156	166	150	140	127	140	1,714	5.142
	4	185	191	195	193	205	220	231	229	236	231	225	231	2,572	10.288
	5	121	134	122	128	129	131	143	131	128	121	121	153	1,562	7.810
	6	21	20	12	15	11	11	13	15	15	15	13	8	169	1.014
	合計	502	522	505	515	509	507	574	571	560	535	514	563	6,377	24.254
区分5.6の割合		28%	30%	27%	28%	28%	28%	27%	26%	26%	25%	26%	29%		
平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計÷総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計										24,254	÷	6,017	=	4.03	(小数点以下第2を四捨五入)

イ、入所・介護系サービス《陽光園・（施設入所支援+生活介護）》・《愛光園ホーム（福祉ホーム）》 《サンリット（通所介護、介護予防通所介護）》

a 概況

- ・生活介護サービスにおいて、猿田事業所「フルーエ」の開設に伴い、4 月より定員を 30 名とし、より日常生活の介護を中心に支援する事業所づくりを行いました。また、6 月より職員体制を 2：1→1.7：1 と、これまで以上に手厚い人員配置の体制に変更し、入浴サービスをはじめ、重度の利用者様への身体介護や生活の支援を行いました。
- ・施設入所支援において、4 月より短期入所を開設し、利用者の緊急時の対応や、保護者のレスパイトを目的として、事業を実施しております。また、1 月より足利市で実施されているあっしーネット事業に協力し、市内の障がいのある方の緊急時に、受け入れが行えるよう体制を組んでおります。
- ・10 月より 3 つの班による担当制を採用し、チームで支援にあたる体制を整えました。
- ・介護部会と連動し、介護マニュアルを使用して職員の介護技術や資質の向上に努めました。
- ・家族とのコミュニケーションと事業所の透明性の確保のため、重度心身障がいの方に対して、自宅への訪問を 6 ヶ月に 1 度実施し、日中の様子や要望等を聞き、ニーズの聴取に努めました。
- ・温水ボイラーの入れ替え工事を行い、ガス使用量の効率化を図り、経費削減に努めました。

- ・職員の資格取得の啓発を行い、3名の職員が介護福祉士の資格を取得しました。
- ・サンリットにおいては、陽光園の企画に参加するほか、利用者層に応じた独自の行事等を企画実施しました。

b 利用者数の推移

《陽光園（生活介護）》

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
区分															
定員数	①	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	30.0
開所日	②	25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310	25.8
延べ利用者数	③	819	852	789	800	807	770	810	817	824	802	739	842	9,671	805.9
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	819	852	789	800	807	770	810	817	824	802	739	842	9,671	805.9
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	32.8	31.6	30.4	30.8	29.9	30.8	30.0	31.5	31.7	32.1	30.8	32.4		31.2
平均利用率(⑥/①:小数点⑦)	⑦	109.4%	105.4%	101.4%	102.7%	99.7%	102.7%	100.0%	105.0%	105.7%	107.0%	102.7%	108.0%		104.0%
平均障害支援区分	区分													総延べ利用日数	総延べ区分
	3	49	47	55	56	56	54	37	33	36	30	34	35	522	1,566
	4	68	64	49	77	75	70	72	74	72	61	57	66	805	3,220
	5	229	207	176	159	159	133	135	137	196	196	180	169	2,076	10,380
	6	473	534	509	508	517	513	566	573	520	515	468	572	6,268	37,608
	合計	819	852	789	800	807	770	810	817	824	802	739	842	9,671	52,774
区分5.6の割合		86%	87%	87%	83%	84%	84%	87%	87%	87%	89%	88%	88%	平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = 52,774 ÷ 9,671 = 5.46 (小数点以下第2を四捨五入)	

《陽光園（施設入所）》

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
区分															
定員数	①	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	30.0
開所日	②	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延べ利用者数	③	900	931	930	961	961	930	961	930	961	961	868	934	11,228	935.7
入院・外泊者数(入所)		7	8	2	5	16	20	39	29	53	60	53	6	298	24.8
計	④	7	8	2	5	16	20	39	29	53	60	53	6	298	24.8
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	893	923	928	956	945	910	922	901	908	901	815	928	10,930	910.8
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	29.8	29.8	31.0	30.9	30.5	30.4	29.8	30.1	29.3	29.1	29.2	30.0		30.0
平均利用率(⑥/①:小数点第2位以下切り上げ)	⑦	99.4%	99.4%	103.4%	103.0%	101.7%	101.4%	99.4%	100.4%	97.7%	97.0%	97.4%	100.0%		100.0%
平均障害支援区分	区分													総延べ利用日数	総延べ区分
	4	58	58	60	62	59	60	62	60	60	27	28	31	625	2,500
	5	387	344	328	306	302	267	265	234	310	304	279	277	3,603	18,015
	6	448	521	540	588	584	583	595	607	538	570	508	620	6,702	40,212
	合計	893	923	928	956	945	910	922	901	908	901	815	928	10,930	60,727
	区分5.6の割合	94%	94%	94%	94%	94%	93%	93%	93%	93%	97%	97%	97%	平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = 60,727 ÷ 10,930 = 5.56 (小数点以下第2を四捨五入)	

《サンリット（通所介護、介護予防通所介護）》

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
区分															
定員数	①	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10.0
開所日	②	21	22	22	22	22	22	22	21	22	20	20	23	259	21.6
延べ利用者数	③	75	72	76	75	73	74	75	72	72	68	64	77	873	72.8
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	75	72	76	75	73	74	75	72	72	68	64	77	873	72.8
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	3.6	3.3	3.5	3.5	3.4	3.4	3.5	3.5	3.3	3.4	3.2	3.4		3.4
平均利用率(⑥/①:小数点第2位以下切り上げ)	⑦	36.0%	33.0%	35.0%	35.0%	34.0%	34.0%	35.0%	35.0%	33.0%	34.0%	32.0%	34.0%		34.0%

《愛光園ホーム（福祉ホーム）》

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	5
利用者数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0

(2) アイタウン《ホームほのか・ホームひだまり（共同生活援助）》

a 概況

- ・入居に向け見学や実習の受け入れを積極的に行い、利用率の向上に努めました。
- ・利用者の安全・安心な生活を支えるため、ホームさんさんにスプリンクラーを設置しました。
- ・利用者間の交流促進や余暇の充実を図るため、毎月1回の行事を実施しました。
- ・地域で行われているペタンクやカラオケ大会に利用者が参加し、地域の方との交流を深めることができました。
- ・利用者へのサービス向上をめざし、意見、訴え等には速やかに対応しました。
- ・毎月1回の買物支援の他、個々のニーズに合わせ外出ができるよう、外部との連絡調整を行いました。
- ・常勤全職員が法人内外の研修に参加し、利用者支援等のスキルアップに努めました。
- ・アイタウン専従の看護師を配置することで医療機関との連携体制強化を図り、より安心安全な生活環境を整えました。

b 利用者数の推移

《ホームほのか（共同生活援助）》

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	30.0
開所日	②	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延べ利用者数	③	802	862	846	881	887	900	930	889	930	930	840	930	10,627	885.6
入院・外泊者数(入所)	④	15	37	29	16	43	36	20	22	49	42	39	55	403	33.6
計	⑤	15	37	29	16	43	36	20	22	49	42	39	55	403	33.6
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑥	787	825	817	865	844	864	910	867	881	888	801	875	10,224	852.0
一日当たり平均利用者数(⑥/②)	⑦	26.3	26.7	27.3	28.0	27.3	28.8	29.4	28.9	28.5	28.7	28.7	28.3		28.1
平均利用率(⑥/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑧	87.7%	89.0%	91.0%	93.4%	91.0%	96.0%	98.0%	96.4%	95.0%	95.7%	95.7%	94.4%		93.7%
⑤の障害支援区分内訳	区分													総延べ利用日数	総延べ区分
	5	15	22	22	24	22	22	23	22	54	85	104	116	531	2,655
	4	210	217	210	217	233	240	248	210	182	152	140	216	2,475	9,900
	3	360	378	386	416	404	422	453	436	428	434	389	388	4,894	14,682
	2	120	123	120	124	124	120	124	120	124	124	84	93	1,400	
	なし	60	62	58	62	61	60	62	60	62	62	56	31	686	
	合計	787	825	817	865	844	864	910	867	881	888	801	875	10,224	27,237
平均障害支援区分	平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計÷総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = $\frac{27,237}{7,900} = 3.45$ (小数点以下第2を四捨五入)														

《ホームひだまり（共同生活援助）》

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	30.0
開所日	②	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延べ利用者数	③	784	836	795	863	868	867	855	821	806	821	756	844	9,916	826.3
入院・外泊者数(入所)	④	1	25	2	4	1	1	11	35	43	35	28	33	219	18.3
計	⑤	1	25	2	4	1	1	11	35	43	35	28	33	219	18.3
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑥	783	811	793	859	867	866	844	786	763	786	728	811	9,697	808.1
一日当たり平均利用者数(⑥/②)	⑦	26.1	26.2	26.5	27.8	28.0	28.9	27.3	26.2	24.7	25.4	26.0	26.2		26.6
平均利用率(⑥/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑧	87.0%	87.4%	88.4%	92.7%	93.4%	96.4%	91.0%	87.4%	82.4%	84.7%	86.7%	87.4%		88.7%
⑤の障害支援区分内訳	区分													総延べ利用日数	総延べ区分
	6				26	31	30	31	24	30	30	28	31	261	1,566
	5	209	216	208	229	247	266	256	181	144	152	140	160	2,408	12,040
	4	244	254	246	278	279	270	269	270	279	294	280	310	3,273	13,092
	3	210	217	214	186	186	180	155	180	186	186	168	186	2,254	6,762
	2	30	31	35	62	62	60	62	60	62	62	56	62	644	
	なし	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
合計		783	811	793	859	867	866	844	786	763	786	728	811	9,697	33,460
平均障害支援区分	平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計÷総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = $\frac{33,460}{8,196} = 4.08$ (小数点以下第2を四捨五入)														

(3) 山川事業所

ア、《足利愛光園（生活介護・就労継続支援B型）》

a 概況

- ・本人の作業内容に対するニーズや効率を把握し、モニタリング時に作業評価を行い、工賃向上に繋がるように支援を行いました。（作業適性・効率など）
- ・事業所内のクリーニング作業は多少の減少も見られましたが、作業活動に大きな影響もなく行う事が出来ました。（全体）
- ・機械設備については、メンテナンスなどを行い、安全に安心して使用できるように取り組みました。（設備関係業者との連携による設備保全）
- ・レクリエーションについては、曜日により参加出来ない利用者が出ない様に、配慮した日程調整を行いました。外出行事を平日に行える様に作業活動を調整して行う事で、比較的空いた状況で観光施設を利用する事が出来て、有意義な活動になりました。また、暑い時期のアイスクリームの提供にも、工夫して提供する事で大変好評でした。（たこ焼きやポップコーンなども提供しました）
- ・誕生月の利用者で外食（予算内で昼食を選択）を行い、好評でした。
- ・家族や GH 世話人との連絡調整を行い、利用者状況の把握を行いました。
- ・インフルエンザ等の感染症対策（マスクの着用・手指消毒の徹底・取っ手等の消毒）を早い時期から行う事で、感染症の症状で休む利用者もほとんど出ずに、サービスの提供が行えました。
- ・平成 30 年度平均工賃

就労継続支援 B 型：25,443 円

b 利用者数の推移

生活介護

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	15.0
開所日	②	25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310	25.8
延べ利用者数	③	327	347	342	330	307	291	308	297	287	280	266	302	3,684	307.0
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	327	347	342	330	307	291	308	297	287	280	266	302	3,684	307.0
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	13.1	12.9	13.2	12.7	11.4	11.7	11.5	11.5	11.1	11.2	11.1	11.7		11.9
平均利用率(⑤/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	87.4%	86.0%	88.0%	84.7%	76.0%	78.0%	76.7%	76.7%	74.0%	74.7%	74.0%	78.0%		79.4%
⑤の障害支援区分内訳	区分													前延べ利用日数	総延べ区分
	3	142	153	150	152	137	124	131	128	130	120	117	132	1,616	4,848
	4	121	125	126	109	101	102	108	103	104	99	91	104	1,293	5,172
	5	64	69	66	69	69	65	69	66	53	61	58	66	775	3,875
	合計	327	347	342	330	307	291	308	297	287	280	266	302	3,684	13,895
平均障害支援区分	区分5.6の割合	20%	20%	19%	21%	22%	22%	22%	22%	18%	22%	22%	22%		
	平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = $\frac{13,895}{3,684} = 3.77$ (小数点以下第2を四捨五入)														

就労継続支援B型

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	25.0
開所日	②	25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310	25.8
延べ利用者数	③	759	821	778	787	784	740	809	775	782	729	694	760	9,218	768.2
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	759	821	778	787	784	740	809	775	782	729	694	760	9,218	768.2
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	30.4	30.5	30.0	30.3	29.1	29.6	30.0	29.9	30.1	29.2	29.0	29.3		29.8
平均利用率(⑤/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	121.6%	122.0%	120.0%	121.2%	116.4%	118.4%	120.0%	119.6%	120.4%	116.8%	116.0%	117.2%		119.2%

イ、《愛光園ホームあすか（共同生活援助）》

a 概況

- ・GH 事業として、利用者が安心して生活が送れるように支援を行いました。
- ・外出行事を希望する利用者が多いことから、H30 年 10 月のホームの定員変更時期までに、現在住んでいる利用者との交流の機会を作る目的で、前期に集中して外出レク活動を行いました。河川敷散策（買物含む）・ふれあいの集い参加・赤見フィッシングパーク散策などに出かけ、大変好評でした。
- ・GH 内で行う行事活動の際に、食事内容を工夫する（購入先を変更するなど）事で、いろいろな物が食べられたと大変好評でした。
- ・H30.10 月に新設したホームだんけ（定員 9 名）がホームあすか（定員 10 名）・ホームつばさ（定員 9 名）に加わり、総定員 28 名の GH に変わりました。愛光園ホームあすかに併設していたホームひばり（定員 6 名）は、あづま事業所ホームかがやきに追加されて運営する事になりました。変更にあたり利用者の方も不安もなく問題なく引継ぎが行われました。
- ・ホームだんけは、12 月に定員 9 名の所 8 名入居があり、クリスマス会も楽しく行う事が出来ました。
- ・現在ホームあすか・つばさとホームだんけは別々にレクリエーションを行っておりますが、今後は一緒に行う行事も計画しております。

b 利用者数の推移

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
区分															
定員数	①	25	25	25	25	25	25	28	28	28	28	28	28	318	26.5
開所日	②	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延べ利用者数	③	750	775	750	775	775	750	657	780	837	837	756	844	9,286	773.8
入院・外泊者数(入所)		1	1	-	1	8	1	2	11	20	27	12	42	126	10.5
計	④	1	1	-	1	8	1	2	11	20	27	12	42	126	10.5
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	749	774	750	774	767	749	655	769	817	810	744	802	9,160	763.3
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	25.0	25.0	25.0	25.0	24.8	25.0	21.2	25.7	26.4	26.2	26.6	25.9		25.1
平均利用率(⑥/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	75.8%	91.8%	94.3%	93.6%	95.0%	92.5%		94.8%
⑤の障害支援区分内訳	区分													延べ利用日数	総延べ区分
	5	30	31	30	31	31	30	84	120	186	186	165	155	1,079	5,395
	4	119	123	120	123	122	120	123	180	183	184	167	186	1,750	7,000
	3	300	310	300	310	305	300	248	266	239	232	220	242	3,272	9,816
	2	180	186	180	186	185	179	138	117	123	123	112	131	1,840	
	なし	120	124	120	124	124	120	62	86	86	85	80	88	1,219	
合計		749	774	750	774	767	749	655	769	817	810	744	802	9,160	22,211
平均障害支援区分		平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数 22,211 ÷ 6,101 = 3.64 (小数点以下第2位を四捨五入)													

(4) 大久保事業所

《一步（就労継続支援B型）》

a 概況

- ・商品価格の見直しを行い、適正価格の設定及び収益性の向上を図りました。
- ・利用者の能力向上に向けて支援を実施し、実施可能作業を増やすことができるよう支援を行いました。
- ・外部での販売の回数を増やす等、地域との繋がりを作ることで、利用者の社会性の向上を目指しております。
- ・販売行事の一環として、8月にイベント「わくわくパンフェア」を店舗にて行い、多くの集客をするとともに、一步の広報活動に努めました。
- ・食品の製造という観点のもと、作業室入室時の手洗いを確実にし、作業所内外の衛生管理を行いました。
- ・家族の見学会を実施し、サービス提供の透明性を図ると共に、家族との関係づくりの向上を図りました。
- ・レクリエーションを定期的に行い、利用者様に喜んでいただきました。
- ・平成30年度平均工賃

就労継続支援B型：11,529円

b 利用者数の推移

区 分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数 ①	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20.0
開所日 ②	22	23	22	25	23	22	23	22	23	23	20	23	271	22.6
延べ利用者数 ③	447	452	456	458	453	441	459	438	450	440	397	462	5,353	446.1
計 ④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④) ⑤	447	452	456	458	453	441	459	438	450	440	397	462	5,353	446.1
一日当たり平均利用者数(⑤/②) ⑥	20.4	19.7	20.8	18.4	19.7	20.1	20.0	20.0	19.6	19.2	19.9	20.1		19.8
平均利用率(⑥/①:小数点第2位以下切り上げ) ⑦	102.0%	98.5%	104.0%	92.0%	98.5%	100.5%	100.0%	100.0%	98.0%	96.0%	99.5%	100.5%		99.0%

(5) あづま事業所

ア、《彩光園（生活介護・B型）》

a 概況

- ・作業においては、クリーニングのたたみ作業に加え、ビデオテープやハンガーの解体作業等新しい作業を積極的に取り入れて、支援を行っております。様々な作業種別や工程を設けることで、それぞれの障がい特性に合った作業提供が実現でき、多様化するニーズに応えられることを目指しました。
- ・3年目を迎えた施設外就労では、新たな人員の確保をはじめ、今後の事業拡大も視野に入れながら取り組みました。任せていただける作業も増え、利用者1人1人の自覚や自信も増し、施設外就労先との信頼関係も築けてきました。
- ・彩（いろどり）では、日々のレクリエーションの充実をすすめました。人と人とのコミュニケーションや共に過ごす喜びを感じていただくとともに、身体機能の維持・向上にも取り組みました。
- ・各部会や研修等への積極的な参加をすすめ、職員のスキルアップを目指しました。また、利用者家族やグループホーム、関係機関との情報共有を行い、より連携を強めることで個別支援の充実に努めました。
- ・平成30年度平均工賃
就労継続支援B型：25,378円

b 利用者数の推移

生活介護

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	24.0
開所日	②	25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310	25.8
延べ利用者数	③	658	692	660	718	738	674	669	598	598	584	547	676	7,812	651.0
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	658	692	660	718	738	674	669	598	598	584	547	676	7,812	651.0
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	26.4	25.7	25.4	27.7	27.4	27.0	24.8	23.0	23.0	23.4	22.8	26.0		25.2
平均利用率(⑤/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	110.0%	107.1%	105.9%	115.5%	114.2%	112.5%	103.4%	95.9%	95.9%	97.5%	95.0%	108.4%		105.0%
⑤の障害支援区分内訳	区分													延べ利用者数	総延べ区分
	2	7	13	16	43	40	36	37	18	19	20	18	20	287	
	3	108	92	94	111	117	109	115	126	102	108	113	125	1,320	3,960
	4	252	287	253	246	263	244	248	221	198	186	176	202	2,776	11,104
	5	180	192	185	205	206	179	158	124	167	163	140	154	2,053	10,265
	6	111	108	112	113	112	106	111	109	112	107	100	175	1,376	8,256
	合計	658	692	660	718	738	674	669	598	598	584	547	676	7,812	33,585
平均障害支援区分	区分5.6の割合	44%	43%	45%	44%	43%	42%	40%	39%	47%	46%	44%	49%		
平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計＝										33,585	÷	7,525	=	4.46	(小数点以下第2を四捨五入)

就労継続支援B型

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	16.0
開所日	②	25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310	25.8
延べ利用者数	③	577	611	584	602	598	577	616	588	597	609	547	619	7,125	593.8
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	577	611	584	602	598	577	616	588	597	609	547	619	7,125	593.8
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	23.1	22.7	22.5	23.2	22.2	23.1	22.9	22.7	23.0	24.4	22.8	23.9		23.0
平均利用率(⑤/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	144.4%	141.9%	140.7%	145.0%	138.8%	144.4%	143.2%	141.9%	143.8%	152.5%	142.5%	149.4%		143.8%
上記のうちの施設外就労延べ利用者数		125	137	125	131	137	119	137	130	125	125	119	125	1,535	127.9
施設外就労利用者を除いた一日当たり平均利用者数		113.0%	109.7%	110.3%	113.2%	106.7%	114.5%	110.9%	110.1%	113.5%	121.0%	111.5%	118.8%		112.7%

イ、《ホームかがやき（共同生活援助）》

ア 概況

- ・あづま事業所のホームかがやき 10 名、ホームきらめき 10 名の定員に加えて、10 月より新たに大久保事業所のホームひばり 6 名が加わりで、3 棟の合計定員数は 26 名となっております。
- ・利用者の方の年齢は 24 歳から 66 歳、障害種別は精神・知的・身体と様々な方々にご利用いただいております。
- ・障害支援区分は、区分 3 から区分 6 と様々であり、きらめきの棟に関しては平均区分 4.6 と、障害が重度の方にも多く、それぞれの障がい特性に合わせた支援を実践しております。
- ・利用者の方、それぞれのストレングスに着目し、生活していく上での希望や目標になる個別支援計画の作成を行いました。また、日々の支援からモニタリングを実施し、変動するニーズに合った支援に努めました。
- ・地区の納涼会や、地元八幡宮の祭りに参加するなど、地域の一員としての関わりを行いました。

イ 利用者数の推移

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	20	20	20	20	20	20	26	26	26	26	26	26	276	23.0
開所日	②	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延べ利用者数	③	556	558	570	589	620	600	753	750	788	806	728	775	8,093	674.4
入院・外泊者数(入所)	④	33	4	46	41	53	60	41	66	77	74	47	31	573	47.8
計	⑤	523	554	524	548	567	540	712	684	711	732	681	744	7,520	626.7
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑥	17.5	17.9	17.5	17.7	18.3	18.0	23.0	22.8	23.0	23.7	24.4	24.0		20.7
一日当たり平均利用者数(⑥/②)	⑦	87.5%	89.5%	87.5%	88.5%	91.5%	90.0%	88.5%	87.7%	88.5%	91.2%	93.9%	92.4%		90.0%
平均利用率(⑥/①:小数点第2位以下切り上げ)															
⑤の障害支援区分内訳	区分													前延べ利用日数	総延べ区分
	6								1			17	31	49	294
	5	202	215	204	238	239	212	207	173	175	177	160	176	2,378	11,890
	4	217	248	231	217	204	210	187	180	198	216	206	229	2,543	10,172
	3	58	60	59	62	93	88	163	180	183	185	168	184	1,483	4,449
	2	46	31	30	31	31	30	93	90	93	92	74	62	703	
	なし							62	60	62	62	56	62	364	
合計		523	554	524	548	567	540	712	684	711	732	681	744	7,520	26,805
平均障害支援区分	平均障害支援区分: 区分×延べ利用日数の合計÷総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = $\frac{26,805}{6,453} = 4.15$ (小数点以下第2位を四捨五入)														

ウ、《なないろ（放課後等デイサービス・児童発達支援）》

ア 概況

○放課後等デイサービス

- ・新棟の完成に伴い、体幹を鍛える等の療育や特別支援学校の中学部生の作業スペースとして支援を充実し、活用しています。
- ・『遊び』『QOL』『学習』の目標掲げる小学生の「個別支援計画」は、絵を描く等の創作力やコミュニケーション能力の向上も含め保護者からご信頼いただいております。
- ・『作業・余暇』『IADL』『学習』の目標掲げた中学部の「個別支援計画」は、今年トークンエコノミーシステムを取り入れ、実生活に役立つ療育を展開しています。
- ・なないろだより『れいんぼう』を月1度発行し、利用児のご家族と在籍校へ法人情報や行事予定・利用児の様子等をお知らせしています。また、利用児の活動や療育の成果等はお迎えの際必ず保護者へお伝えし密接な連携を保てるよう心掛けています。

○児童発達支援

- ・利用児の「個別支援計画」は『遊び』『ADL』『療育』の目標で支援し、モニタリングは年2回実施しています。研修は放デイ『なないろ』と合同で行い児童発達支援事業に関わる職員のスキルを高く保っています。
- ・児童発達支援は、個別支援中心で充実した療育を提供し家族の皆様からご満足いただいております。

また、担当の支援員はその日の活動の様子や体調、療育の成果を伝え、ご家族からも利用児が褒めていただけるよう連携しています。

b 利用者数の推移

放課後等デイサービス

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10.0
開所日	②	24	24	26	25	26	22	26	23	23	23	24	25	291	24.3
延べ利用者数	③	232	251	248	259	256	213	254	252	225	219	212	242	2,863	238.6
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	232	251	248	259	256	213	254	252	225	219	212	242	2,863	238.6
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	9.7	10.5	9.6	10.4	9.9	9.7	9.8	11.0	9.8	9.6	8.9	9.7		9.9
平均利用率(⑥/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	97.0%	105.0%	96.0%	104.0%	99.0%	97.0%	98.0%	110.0%	98.0%	96.0%	89.0%	97.0%		99.0%

児童発達支援

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10.0
開所日	②	4	3	5	4	4	5	4	3	4	4	4	5	49	4.1
延べ利用者数	③	11	8	12	11	11	28	19	17	21	21	19	25	203	16.9
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	11	8	12	11	11	28	19	17	21	21	19	25	203	16.9
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	2.8	2.7	2.4	2.8	2.8	5.6	4.8	5.7	5.3	5.3	4.8	5.0		4.2
平均利用率(⑥/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	28.0%	27.0%	24.0%	28.0%	28.0%	56.0%	48.0%	57.0%	53.0%	53.0%	48.0%	50.0%		42.0%

(6) 六郷事業所

ア、《ラクーン（生活介護）》

a 概要

- ・生活支援や生産活動を通して、利用者の心地よい環境づくりを意識し、実践しております。
- ・作業プログラムの質と量の充実を図り、利用者の皆様に喜んでいただいております。
- ・外部ボランティア、地域のイベントや商業施設の利用等、施設外の社会資源を活用し、余暇活動の充実に務めました。
- ・利用者の皆様の利用時間終了後、毎日整理・整頓・清掃に努め、清潔で安心安全に事業所づくりに励行しました
- ・利用率 100%超の目標達成の為、積極的に見学、実習を受け入れました。

b 利用者数の推移

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20.0
開所日	②	25	27	26	26	27	25	27	26	25	25	24	26	309	25.8
延べ利用者数	③	452	539	485	482	485	499	516	489	472	498	459	527	5,903	491.9
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	452	539	485	482	485	499	516	489	472	498	459	527	5,903	491.9
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	18.1	20.0	18.7	18.6	18.0	20.0	19.2	18.9	18.9	20.0	19.2	20.3		19.2
平均利用率(⑥/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑦	90.5%	100.0%	93.5%	93.0%	90.0%	100.0%	96.0%	94.5%	94.5%	100.0%	96.0%	101.5%		96.0%
⑤の障害支援区分内訳	区分													総延べ利用日数	総延べ区分
	3	165	199	176	158	157	173	153	167	174	178	135	153	1,988	5,964
	4	190	224	209	233	236	228	247	229	230	232	222	256	2,736	10,944
	5	97	115	95	85	83	93	106	82	59	80	92	93	1,080	5,400
	6	-	1	5	6	9	5	10	11	9	8	10	25	99	594
	合計	452	539	485	482	485	499	516	489	472	498	459	527	5,903	22,902
平均障害支援区分	区分5.6の割合	21%	22%	21%	19%	19%	20%	22%	19%	14%	18%	22%	22%		
平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = $\frac{22,902}{5,903} = 3.88$ (小数点以下第2を四捨五入)															

イ、《セレッソ館・アゼリア館（共同生活援助）》

a 概況

- ・家庭菜園や季節に応じた食事づくりを職員と利用者様共働で行い、信頼関係の向上に努めました。
- ・毎月1度、地域貢献として近隣街道のゴミ拾い（クリーン大作戦）を、緑色のビブスを着用し行いました。
- ・誕生日のバースデーケーキや買い物支援等、個別支援の向上に努めました。
- ・肥満防止として万歩計の健脚コンテストを毎月実施し、健康への意識向上に努めました。
- ・地域のイベントや商業施設の利用等、施設外の社会資源を活用し、余暇活動の充実に努めました。

b 利用者数の推移

《セレッソ館（共同生活援助）》

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12.0
開所日	②	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延べ利用者数	③	352	372	360	372	341	330	341	330	341	341	280	310	4,070	339.2
入院・外泊者数(入所)	④	-	2	-	12	14	7	1	24	36	37	16	5	154	12.8
計	⑤	-	2	-	12	14	7	1	24	36	37	16	5	154	12.8
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑥	352	370	360	360	327	323	340	306	305	304	264	305	3,916	326.3
一日当たり平均利用者数(⑥/②)	⑦	11.8	12.0	12.0	11.7	10.6	10.8	11.0	10.2	9.9	9.9	9.5	9.9		10.8
平均利用率(⑦/①・小数点第2位以下切り上げ)	⑧	98.4%	100.0%	100.0%	97.5%	88.4%	90.0%	91.7%	85.0%	82.5%	82.5%	79.2%	82.5%		90.0%
⑤の障害支援区分内訳	区分													総延べ利用日数	総延べ区分
	5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	1,825
	4	90	91	90	87	91	84	93	67	58	60	69	88	968	3,872
	3	120	124	120	124	112	120	124	120	124	124	112	124	1,448	4,344
	なし	112	124	120	118	93	89	92	89	92	89	55	62	1,135	
	合計	352	370	360	360	327	323	340	306	305	304	264	305	3,916	10,041
平均障害支援区分	平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = $\frac{10,041}{2,781} = 3.61$ (小数点以下第2を四捨五入)														

《アゼリア館（共同生活援助）》

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12.0
開所日	②	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
延べ利用者数	③	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	336	372	4,380	365.0
入院・外泊者数(入所)	④	3	6	8	4	6	5	4	5	5	9	3	5	63	5.3
計	⑤	357	366	352	368	366	355	368	355	367	363	333	367	4,317	359.8
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑥	357	366	352	368	366	355	368	355	367	363	333	367	4,317	359.8
一日当たり平均利用者数(⑥/②)	⑦	11.9	11.9	11.8	11.9	11.9	11.9	11.9	11.9	11.9	11.8	11.9	11.9	11.9	11.9
平均利用率(⑦/①:小数点第2位以下切り上げ)	⑧	99.2%	99.2%	98.4%	99.2%	99.2%	99.2%	99.2%	99.2%	99.2%	98.4%	99.2%	99.2%	99.2%	99.2%
⑤の障害支援区分内訳	区分													前延べ利用日数	総延べ区分
	6	28	26	23	28	26	26	28	26	28	26	25	27	317	1,902
	5	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730	3,650
	4	119	123	119	124	123	119	123	119	124	122	112	123	1,450	5,800
	3	90	93	90	93	93	90	93	90	92	92	84	93	1,093	3,279
	2	60	62	60	61	62	60	62	60	61	61	56	62	727	1,454
	合計	357	366	352	368	366	355	368	355	367	363	333	367	4,317	16,085
平均障害支援区分	平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = 16,085 ÷ 4,317 = 3.73 (小数点以下第2を四捨五入)														

(7) 猿田事業所

ア、《フルーエ（生活介護）》

a 概況

- ・平成 30 年 4 月に、定員 20 名の生活介護事業所として、新規にオープンいたしました。当初は、法人内の利用者の方の通所状況や活動内容を参考に見学会などを行い、利用に繋げていております。
- ・職員については、陽光園等で支援経験のある方を人選して異動を行いました。
- ・入浴支援を火・水・金曜日に行っており、月・木曜日は利用者とは接する時間を多く取れる様に創作活動・外出・散策・音楽活動を取り入れ、支援を行っております。
- ・月に何回か昼食を外食（実費負担）のお弁当にして、普段食べられない生もの等（刺身類等）を提供しております。
- ・月に 1 回程度外出の機会を作り、活動しています。（冬期は感染症対策で自粛）
- ・平成 30 年 12 月から、生産活動として内職（簡単なパーカー詰め）を希望する利用者に提供を行っております。

b 利用者数の推移

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
定員数	①	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20.0
開所日	②	21	23	21	22	23	20	23	22	21	21	20	22	259	21.6
延べ利用者数	③	315	326	333	406	394	360	415	400	397	409	352	406	4,513	376.1
計	④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
算定対象延べ利用者数(③-④)	⑤	315	326	333	406	394	360	415	400	397	409	352	406	4,513	376.1
一日当たり平均利用者数(⑤/②)	⑥	15.0	14.2	15.9	18.5	17.2	18.0	18.1	18.2	19.0	19.5	17.6	18.5		17.5
平均利用率(⑥/①:小数点第2位以下切り上げ)	⑦	75.0%	71.0%	79.5%	92.5%	86.0%	90.0%	90.5%	91.0%	95.0%	97.5%	88.0%	92.5%		87.5%
⑤の障害支援区分内訳	区分													前延べ利用日数	総延べ区分
	2							11					3	14	
	3	35	41	33	36	31	31	35	33	29	30	30	38	402	1,206
	4	92	86	85	77	61	55	62	65	61	49	44	48	785	3,140
	5	147	145	145	164	154	143	175	192	198	207	184	192	2,046	10,230
	6	41	54	70	129	148	131	132	110	109	123	94	125	1,266	7,596
	合計	315	326	333	406	394	360	415	400	397	409	352	406	4,513	22,172
平均障害支援区分	区分5.6の割合 60% 61% 65% 72% 77% 76% 74% 76% 77% 81% 79% 78% 平均障害支援区分：区分×延べ利用日数の合計→総延べ区分合計÷総延べ利用日数合計 = 22,172 ÷ 4,499 = 4.93 (小数点以下第2を四捨五入)														

(8) 愛光園障害者相談支援センター共生

指定特定相談支援事業所の名称	愛光園障害者相談支援センター共生		
主な対象市町名	栃木県足利市、佐野市、群馬県館林市		
職員配置の状況	氏 名	職種等	資格等
	小野 広久	相談支援専門員	介護福祉士
	原 健一	相談支援専門員	社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員
	室岡 三慈	相談支援専門員	社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員
業務項目	業務の実施方針等		回数、件数、開催時期等
① サービス等利用計画およびモニタリングの実施	○利用者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような計画を作成しました。 ○利用者の意思及び人格を尊重して、利用者の立場に立ち計画の作成を行いました。		随時 成人 215 件 児童 25 件
	○利用者の希望や目標の達成状況などを含めて、モニタリングを実施し、生活の向上を目指す支援を行いました。		・モニタリング時期 ・状況の変化に応じて 成人 289 件 児童 7 件
② 関係機関との連携	利用者の望む生活が実現できるよう、市町、障害福祉サービス事業者等との連携を図りました。		随時

(9) 足利市障がい者基幹相談支援センター

障害者相談支援事業 実績報告書(平成30年度)							
障害者相談支援センター の 名 称 等	足利市障がい者基幹相談支援センター						
対 象 市 町 村 名	足 利 市						
職員配置の状況	氏 名	職 種 等		資格等			
	石井 義憲	センター長		放射線技師			
	長 秀紀	相談支援専門員		社会福祉士、社会福祉主事、障害者上級ケアマネ研修修了、介護支援専門員			
	尾澤 嘉孝	相談支援専門員		社会福祉主事、手話通訳者、セルプ士、障害者上級ケアマネ研修修了、全リハ協アドバンスコース修了、高校2級社会科教員免許			
	勝又 明日香	相談支援専門員		精神保健福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、社会福祉主事			
	田口 裕之	相談支援専門員		介護福祉士、社会福祉主事			
相 談 実 績	相談実人数		491 人				
相 談 形 態 (延 べ 件 数)	電話・メール	来所	訪問	関係機関	支援会議	その他	計
	1,944 件	457 件	738 件	881 件	60 件	111 件	4,191 件
処理(対応)実績(延べ件数)							
情 報 の 提 供			3,078 件				
サ ー ビ ス 利 用 の 助 言			487 件				
サ ー ビ ス 利 用 の 申 請 援 助			236 件				
他 機 関 紹 介			41 件				
ケース検討会			49 件				
そ の 他			1,339 件				
合計			5,230 件				
※相談形態と処理(対応)実績の件数については、1件の相談で複数の処理(対応)をする場合もあるため、件数は一致しません。							
○ 相談事例(福祉サービスにつなげた主な事例)							
○身体障害者 50代で身体障害があり、一般就労をしていたが、視神経の病を併発して一般就労が不可能となってしまった男性。以前から、仕事で問題があったら相談したいとの連絡があったケース。本人からセンターに相談あり。失業してしまったこと、家族がある程度収入を得たいとの相談あり。退職後は、失業給付金をもらい就職活動をしていたが、移動手段が徒歩と公共交通機関ということで、適した見つからなかった、とのこと。路線バスで駅までは行けることから、就労継続支援A型事業所を紹介し見学同行、内職作業であれば問題なくこなせるということで採用可能となり、計画相談支援事業所につなぎ利用開始となった。通い始めて職場にも慣れ、3カ月の試用期間が過ぎ正規採用となり元気に働いている。 ○知的障害者 クリニックDrから以前からの患者さんで小、中学と不登校で受診している10代後半の方について、現在はサポート校に通っているが、あまり行けていない。心理判定をしたところ、IQ50代後半なので、知的障害として手帳申請をし、支援を受けたほうが良いのではと思うので、家族の相談に乗って欲しいとの話あり。祖母、母親と面接し、手帳申請を行い、B2の手帳交付、デイサービス利用から今後の施設利用に向けて新たな展開に向けて動き始めた。 ○精神障害者 市役所障がい福祉課から紹介。本人は20代女性。不安障害で市外の医療機関を受診している。今まで対人関係に課題を抱えることが多かったのと、離職してから4年くらいは経つことから、復職するにはブランクもあるのでまずは週2～3回の午前中のみなど短時間からどこかへ通うことを始めて徐々に慣らしていくのがよいのではないかと周囲から助言を受けており、本人としても体力に自信がないので、週2～3日の訓練から始めていくことを希望していた。就労支援について説明をしたところ、就労継続支援B型の利用を希望したため、市内の就労継続支援B型で本人が作業内容に興味を持った1つの事業所を見学。体験利用を行ったところ、体験利用中も問題なく過ごせており、本人からも正式な利用希望があったためサービス利用申請を行った。							

社会資源創出等に関する企画・提言（企画・提言の有無、内容、提言結果等を記載）
足利市地域自立支援協議会の各専門部会において、地域課題の協議を行った。 ○地域支援部会1G(精神疾患のある方の地域課題の協議) ・精神科医療と福祉の連携について協議⇒普段からのカンファレンスやケア会議に参加していくことの重要性を確認 ・高齢の精神障害者で困難事例の対応についての協議⇒基幹相談支援センターを利用し、障害分野と高齢分野の担当で検討していくことが有効であることを確認。 ・地域包括支援センター実務者連絡会議に出席して、連携を図るための情報交換を行った。 ○地域支援部会2G(知的・身体の障がいのある方の地域課題の協議) ・住民の障害理解の促進について⇒おひさまカフェへの部会員の参加および周知、ハートショップ等での周知活動の検討。 ・市内の事業所の地図の作成⇒トイレマップを参考に次年度にかけて作成を検討 ・親亡き後のサポート体制⇒親亡き後相談につながる体制を検討 ・同行援護事業者が少なく、希望しても利用できない状況⇒事業所増は厳しい、インフォーマルな資源も活用との助言あり ○就労支援部会(就労に関する課題の協議) ・市内就労継続支援A型、B型事業所の視察および視察結果の確認 ・市内就労系事業所(就労継続支援A型、B型)ガイドブック(仮称)の作成⇒市内のA、B型事業所に施設概要を作成を依頼し、データで送っていただいた。平成30年の平均工賃を掲載して、ガイドブックとして相談機関を中心に配布することになった。 ・移動手段の限られる人の就労の課題について⇒障害者求人の状況、企業側の配慮などの情報をもとに意見交換をした。 ○児童支援部会(児童に関する課題の協議) ・障害児の対応に関するアンケート集計⇒特別支援学校のみアンケート実施 支援の現状について把握された。 ・医療的ケアの児童の医療機関(歯科・眼科・耳鼻咽喉科)がかかれるところが限られている。⇒現状についての意見交換。 ・障害児をもつ保護者の育児負担を軽減するためのネットワーク作りや社会資源づくりについて⇒既存のサークル・団体について確認しあった。おひさまカフェの活用などの意見が出された。 ・障害のある引きこもり児童の卒業後の情報提供システムの構築⇒構築に向けての課題等の意見交換 ・医療的ケア児の支援の協議⇒どのような形で競技すべきかの意見交換
ピアカウンセラーの活用による相談の実施(相談回数、相談の概要、結果等を記載)
相談回数:0 回
地域の相談支援体制の強化の取り組み
①市内の相談支援事業者に対する専門的な指導、助言 対応困難なケースについて、その対応について検討し、関係機関を招集してケア会議を開くなどして指導、助言を行った。 ②市内の相談支援事業者の人材育成の支援および③地域の相談機関との連携強化の取り組み 安足地区障害者相談支援事業者等連絡会において、相談支援事業者等を対象とした研修会を開き、人材の育成に努めた。 【研修内容】 第1回「平成30年度相談支援事業関係の法改正を受けて今すべきことを学ぶ」(県、足利市、佐野市の担当者による説明とグループワーク) 第2回「サービス管理責任者等とのより良い連携を一緒に考えよう」(計画相談、サービス提供事業所の担当者による事例報告とグループワーク) 第3回「安足管内の就労継続支援A型事業所について学ぼう」(安足管内のA型6事業所のプレゼンテーション) 第4回「視察 すずなみきタウン(日光)、希望の家(鹿沼)の視察」 第5回「サービス等利用計画の作り方(不安定な養育者を持つ児童、精神障がいの方の事例)」 第6回「生活困窮の方の支援について」(足利市、佐野市の生活困窮者自立支援担当者の現状報告と質疑応答) ④市役所窓口による相談業務 市・障がい福祉課に相談支援相談支援員が外向き相談対応を行った。相談内容により、市の関係部署の担当者と一緒に面接し相談に対応した。障がいによっては、他の相談支援専門員に引継ぎ対応した。
総合的・専門的な相談支援の実施について
・身体、知的、精神、発達、高次脳、難病等、障がいの種別も多岐に渡り、重複している方からの相談も寄せられた。また、障がいの疑いがあり、障害手帳や自立支援医療の手続きの相談も一定数あった。それぞれ、インテーク面接を経てアセスメントを行い、ニーズを明らかにしつつ、関係する機関・団体等と連携して相談を進めた。就労に関する相談については、より専門的な対応を行う、両毛圏域障害者就業・生活支援センターなどに連携し対応した。また、精神疾患のある方については、安足健康福祉センターや精神科病院等との連携して対応した。 ・足利中央特別支援学校および足利特別支援学校、南那須特別支援学校の進路相談会に市の担当と出席し、本人、親と担任、進路指導主事と卒業後の進路について検討を行った。
その他(関係機関との連携状況等を記載)
・相談者の中には生活困窮に陥っている方や市の生活困窮者自立相談支援担当者から対応依頼が一定数ある状況であったため、同担当が月1回開催している「生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議」に出席し、ケースに対しての検討および連携を図った。 ・地域包括支援センター、民生委員との連携を図るために、地域包括支援センター主催の「高齢者連携支援協力会議」に出席し、包括支援センターの職員、ケアマネージャー、民生委員・児童委員等と事例を通して支援や連携の確認および検討を行った。 ・市の若年性認知症の支援の取り組みに参画し、両毛圏域障害者就業・生活支援センターによる就労支援についての勉強会を開催した。 ・安足地区精神障害者支援ネットワーク会議の地域移行・地域定着委員会と啓発委員会に所属し、会議や研修会を通して連携を図った。 ・地域生活支援拠点整備事業(あつしーネット事業)について、自立支援協議会において内容を協議し、市民向け説明会を平成30年12月20日開催し、平成31年1月に事業の開始となった。

3. 部会報告

(1) 就労部会

クリーニング事業を中心に法人内の就労支援事業について、原価計算や個別支援計画の在り方等を学び、専門性を高めることを目的としております。

日付	区分	内容等	人数
H30.5.26	研修	第1回就労部会 ①「リネンサプライ（クリーニング）業務を円滑に進められるために」（川俣理事長） ②「スタッフが主導で行う会議」	17
H30.8.28	研修	第2回就労部会 事例検討会（グループワーク） ※法人内利用者の事例 業務マニュアルの整備について	20
H30.8.30 ～ 9.12	面接	部会員と業務内容への取り組み等の説明	21
H30.10.1	交流会	就労部会員同士との交流・懇談会	16
H30.11.5	運営委員会	・次回就労部会内容検討 ・標準作業書の作成状況について ・各事業所の職員の必要とされる要件について ・一步の件について	5
H30.12.27	研修	第3回就労部会 ・作業標準マニュアル作成状況 ・各事業所の職員の必要とされる要件 ・就労支援フォーラム参加報告	20
H31.1.10	運営委員会	・業務マニュアルの整備状況確認 ・来年度のレクリエーション活動について（方向性の確認）	10
H31.2.7	生産委員会	各事業所の生産状況、新規作業について ・各事業所の生産状況の確認 ・ハンガー分解作業について ・就労関係事業所の今後の方向性について	7
H31.3.29	研修	第4回就労部会 ・理事長からの話 ・新規作業について（ハンガー解体） ・作業標準マニュアルの現況報告	22

(2) 介護部会

職員一人一人が介護のプロとして自覚を持ち、専門的な介護が行えるようにしていくことと合わせて、将来のリーダーの育成を目的としています。

日付	区分	内容等	人数
H30.4.23	運営会議	・平成 30 介護部会形態について	7
H30.5.22	研修	第 7 回介護部会 ①部会 H30 年度の指針 ②送迎業務マニュアルの作成・車椅子体験。 ・送迎マニュアルを運転手へ伝達研修。	36
H30.6.22	運営会議	・第 7 回介護部会について、事業所間の交換研修について	8
H30.7.23	運営会議	・第 8 回介護部会について ・送迎マニュアル運転手への伝達研修について等	8
H30.7.24	研修	第 8 回介護部会：虐待防止法について考える ・長係長より「虐待防止法」について講義。 ・これって虐待？グループ討議を実施。	36
H30.8.31	運営会議	・第 9 回介護部会について ・部会交流会について、他事業所交換研修について等	8
H30.9.27	研修	第 9 回介護部会：「福祉の現場のコミュニケーション」 社会福祉士事業所にじみる 理事 高田美保氏 ・コミュニケーションについて個別ワーク・グループワークを実施。	32
H30.9.30 H30.10.14	交流会	介護部会メンバーで部会交流会を 2 回に分けて実施。 行先：みなかみたくみの里、みなかみ高原ホテル 内容：ハーバリウム体験、ランチバイキング	37
H30.10.22	運営会議	・第 10 回介護部会について ・介護部会部会交流会反省会、障がい者保険について等	8
H30.11.23	研修	第 10 回介護部会：「救急救命講習会」 ・佐々木主任より「消防について」 ・中島看護師より「救急救命・発作・窒息について」	28
H30.12.11	運営会議	・第 11 回介護部会について ・医的ケアのある利用者の受け入れについて等	8
H31.1.22	研修	第 11 回介護部会： 「レクリエーション活動を活かす魔法のコツ」 栃木県レクリエーション協会 指導育成委員長 村山哲也氏 ・アイスブレーキング、ホスピタリティ等技術 ・実技	27
H31.2.11	運営会議	・第 12 回介護部会について ・H31 年度介護部会形態について等	8
H31.3.26	研修	第 12 回介護部会：「紙おむつ豆知識勉強会」 ユニチャーム株式会社 営業開発部 阿部一範氏 ・おむつの選び方と適正な使い方	29

(3) 居住部会

サビ管委員会、レク委員会、生活向上委員会の3部構成とし、住まいの場として、利用者の生活を支える支援と、それに対する事業計画を考えることができる職員の育成を行っています。

日付	区分	内容	人数
H30.6.5	サビ管委員会	①請求業務、加算・減算について確認。 ②5月度の主幹会議を受けて ・各 GH 空き状況、今後の受け入れ確認 ・感染症対策について ・成人病等の早期発見について ・GH ティンク死亡事故を受けて（入浴時の湯音確認） ③支援員会議、ケース会議について ④支援実施書書式について	5
H30.7.23	レク委員会	①4月から7月までの各 GH のレク報告 ②各 GH 実施レクリエーションの振り返り ③実費負担でのレクについて ④GH スタッフ研修会について	6
H30.9.5	サビ管委員会	①だんけへの異動候補者リストアップ ②各事業所の特色、利用者の障害特性を考慮した利用者の異動について	5
H30.10.9	生活向上委員会	①スマホ（携帯）の使用方法について（課金等での高額請求） ②異性問題について	6
H29.11.27	研修	改善取組状況の報告、 行動障害・意思決定支援・求められてる働き方の伝達研修	13
H30.12.12	サビ管委員会	①共同生活援助加算について。 ②服薬管理について	12
H30.12.28	レク委員会	①各 GH 実施レクリエーションの振り返り。 ②実費負担でのレクについて ③GH スタッフ研修会について改善取組状況の報告、	12
H30.2.21	研修	改善取組状況の報告、30年度事業計画案の作成報告	10
H30.3.21	評価	改善取組と部会の評価	11

(4) 地域支援部会

相談支援専門員やサービス管理責任者、有資格者を中心に研修を行い、日々の支援の質の向上を目指すと共に、法人外の機関や体制について学び、支援の視野を広げていくことを目的としております。

日付	区分	内容	人数
H30.5.31	研修	講義・グループワーク 「相談支援とサービス提供事業所との連携」	26
H30.6.19	運営会議	年間の取り組み内容の検討及び第2回研修内容の検討	6
H30.7.26	研修	講義 「館林を知り、館林市障がい者総合支援センターの役割を知ろう」 館林市相談支援事業 にこにこ 主任相談支援専門員 牛久純一 氏	26
H30.8.29	運営会議	第2回研修会の振り返り及び第3回研修会内容の検討	8
H30.9.27	研修	グループワーク 「受け入れ困難な事例の検証」	20
H30.10.30	運営会議	第3回研修会の振り返り及び第4回研修会内容の検討	7
H30.11.29	研修	講義 「佐野市の現状および佐野市の基幹相談支援センターの役割を知り、改めて愛光園の役割の認識を深めよう」 障がい者相談支援センターみどり センター長 高嶋秀行 氏 相談支援事業所さの 管理者 二木 優子 氏	22
H30.12.25	運営会議	第4回研修会の振り返り及び第5回研修会内容の検討	8
H31.1.31	研修	講義 「足利市の障害福祉の理解と愛光園の役割を考える～足利市あっしーネット緊急時支援事業、足利市障がい者基幹相談支援センター、足利市地域自立支援協議会等～」	24
H31.2.25	運営会議	第5回研修会の振り返り及び第6回研修会内容の検討	7
H31.3.28	研修	グループワーク 「平成30年度の取り組み内容を振り返り日常の支援に活かしたことの再確認する」	17

4. 評議員会の開催状況

	日程	内容
1	H30.6.21	平成 29 年度事業報告 平成 29 年度決算報告 社会福祉充実残額の状況について
2	H30.10.29	定款の変更について 平成 30 年度補正予算について 規程の改正について 入札の実施について 土地購入について 理事長の職務執行状況について 業務委託契約の締結 不動産情報について
2	H31.3.28	理事長の職務執行状況について 平成 30 年度補正予算について 平成 31 年度事業計画について 平成 31 年度予算について ㈱三桝屋總本店の不動産売買契約等について 車両の整備について

5. 理事会の開催状況

	日程	議案内容
1	H30.6.4	理事長の職務執行状況について 平成 29 年度事業報告 平成 29 年度決算報告 平成 30 年度補正予算（案）について 定時評議員会の開催について 規程の改正について 社会福祉充実残額の状況について
2	H30.9.25	理事長の職務執行状況について 臨時評議員会の開催について 平成 30 年度補正予算について 定款の変更について 規程の改正について 入札の実施について 土地購入について 不動産情報について
3	H30.10.29	業務委託契約の締結

4	H30.12.17	館林市における事業等の取得・活用について 規程等の改正について 定款変更手続きに係る訂正について 理事長の職務執行状況について
5	H31.3.28	理事長の職務執行状況について 平成 30 年度補正予算について 平成 31 年度事業計画について 平成 31 年度予算について ㈱三桝屋總本店の不動産売買契約等について 車両の整備について

6. 職員の研修等実施状況

22 ページ ～ 26 ページ資料による。

7. 事業別職員数

27 ページ資料による。

8. 補助事業の活用状況

28 ページ資料による。

以上

平成 30 年度 外部研修等実施状況

※「所属欄」:複数事業に配置されている職員は、配置割合の多い事業所の所属としています。

※本表は職員の資質・技術の向上を目的とする又はその効果を見込む外部の研修等を掲載しています。

		研修名(内容等)	主催者等	参加者	所属
1	30.3.8	平成 29 年度社会福祉施設採用内定者研修会	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 福祉人材研修センター	春山奈菜	フルーエ
				大塚麻稀	ラクーン
2	30.4.18	初任者研修会	群馬県知的障害者福祉協会	大塚麻稀	ラクーン
3	30.4.19	社会福祉法人会計セミナー	税理士法人第一経営	星美津男	共働舎
4	30.4.21	栃木障がいフォーラム研修会	栃木障がいフォーラム	川俣恵一	愛光園
5	30.5.7	地域共生社会トップセミナー	栃木県	川俣恵一	愛光園
6	30.5.15	経営協定期総合研修会	栃木県社会福祉法人経営者協議会	川俣恵一	愛光園
7	30.5.17 30.5.18	防火管理講習	一般財団法人 日本防火・防災協会	森律子	フルーエ
				津布子昌宏	彩光園
8	30.5.18	セルフセンター総会、研修会	栃木県社会就労センター協議会	川俣聡司	陽光園
				川俣恵一	愛光園
9	30.5.31	市町審査会委員研修及び、障害支援区分認定調査員研修	栃木県	岡嶋梨加	ホームかがやき
				長谷川祐也	彩光園
				瀬山晋平	なないろ
				大越雅明	ホームほのか
				川島通雄	ホームひだまり
10	30.6.6	社会福祉法人会計セミナー 「決算書の読み方と、施設経営の活用 法」	日本コンサルティング(株)	川俣聡司	陽光園
11	30.6.11	「農福連携」実践農場見学会	河内農業振興事務所・河宇地方農業振興協議会、宇都宮市・宇都宮農業協同組合	藤田勝美	ラクーン
12	30.6.11 30.6.12	平成 30 年度、第 1 回相談支援従事者 初任者研修	群馬県健康福祉部障害政策課 有限会社プログレ総合研究所	小野広久	障害者相談 支援センタ ー共生
	30.6.12	平成 30 年度、障害児通所支援事業所等 従事者研修会			なないろ
13	30.6.12	平成 30 年度、障害児通所支援事業所等 従事者研修会	栃木県社会福祉協議会福祉人材研修センター	牧野祐子	なないろ

14	30.6.15	福祉施設の特性にあった給与制度改定のポイント	日本コンサルティング㈱	川俣聡司	陽光園
15	30.6.18 30.6.19	平成 30 年度、第 1 回相談支援従事者初任者研修	群馬県健康福祉部障害政策課 有限会社プログレ総合研究所	小野広久	障害者相談 支援センタ ー共生
16	30.6.30	第 39 回自閉症支援セミナー	栃木県自閉症協会	今井里緒菜	ホームほのか
				黒岩悦子	なないろ
				塚原悠輔	彩光園
				桑原利昌	ホームほのか
				山本渉	ホームかがやき
17	30.7.3	あしぎん総合研究所 プレミアム講習会	株式会社あしぎん総合研究所	川俣恵一	愛光園
18	30.7.4	平成 30 年度第 1 回「おこまり福祉相談」関連研修会	栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」支援協議会 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会	小野広久	障害者相談 支援センタ ー共生
19	30.7.4	福祉車両安全運転講習会	一般社団法人 日本福祉車両協会	吉澤孝之	陽光園
20	30.7.10	平成 30 年度第 2 回社会福祉法人経営者研修	栃木県社会福祉協議会 栃木県社会福祉法人経営者協議会	川俣恵一	愛光園
21	30.7.11 30.7.17	平成 30 年度栃木県サービス管理責任者研修	特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会	塚原悠輔	彩光園
22	30.7.14	平成 30 年度栃木県子ども若者・ひきこもりサポーター事後研修	ポラリスとちぎ	川俣弘美	彩光園
23	30.7.19	平成 30 年度第 1 回相談支援従事者初任者研修<相談支援専門員過程>	群馬県健康福祉部障害政策課 有限会社プログレ総合研究所	小野広久	障害者相談 支援センタ ー共生
24	30.7.27	栃木県精神障害者地域就労移行・地域定着支援関係者研修	栃木県	室岡三慈	障害者相談 支援センタ ー共生
25	30.7.30	指導監査に対応するための業務改善	TKC 全国会	星美津男	共働舎
26	30.8.3	平成 30 年度栃木県サービス管理責任者研修（共通講義）	特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会	菅原浩太郎	陽光園
				山本渉	ホームかがやき
				川俣聡司	陽光園
				塚原悠輔	彩光園

27	30.8.5	2018 年度栃木県小児在宅医療体制構築事業 第 2 回小児在宅医療に関わる多職種研修会	栃木県	長 秀紀	足利市障がい者基幹相談支援センター
28	30.8.7	平成 30 年度相談支援部会・地域支援部会合同研修会	特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会	川俣恵一	愛光園
				田口裕之	足利市障がい者基幹相談支援センター
29	30.8.25	2018 年度とちぎソーシャルケアサービス従事者の日公開セミナー 地域包括ケアシステムの構築に向けて多機関多職種連携を促進する経過記録法	とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会	渡辺幸恵	彩光園
				佐藤圭	ラクーン
				星美津男	愛光園
30	30.8.28	社会就労支援事業を取り巻く流れについて（軽減税率と HACCP について）	栃木県社会就労センター協議会	佐藤健一郎	一步
31	30.8.28 30.8.29	栃木県サービス管理責任者研修(介護)	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会	菅原浩太郎	陽光園
				山本渉	ホームかがやき
				川俣総司	陽光園
				塚原悠輔	彩光園
				瀬山晋平	彩光園
32	30.8.30	第 2 回精神障害者との関わりのヒントを得るための学習会	特定非営利活動法人 栃木県精神障害者支援事業協会	今井里緒菜	ホームほのか
33	30.9.1	「長期化・年長化するひきこり理解と支援」	栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センターポラリス・とちぎ	川俣弘美	彩光園
34	30.9.3	会計監査人監査に関する研修会	日本公認会計士協会当協会栃木県会	星美津男	愛光園
35	30.9.8	レクリエーション・インストラクター養成校議会	栃木県レクリエーション協会	佐藤圭	ラクーン
36	30.9.19	平成 30 いちごハートネット事業 第 2 特別セミナー	栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」支援協議会 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会	安田邦之	共働舎
37	30.9.26 30.9.27	栃木県サービス管理責任者研修地域分野(知的・精神)	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会	塚原悠輔	彩光園
	山本渉			ホームかがやき	
38	30.9.28	平成 30 第 3 社会福祉法人経営者研修会	栃木県社会福祉協議会 栃木県社会福祉法人経営者協議会	川俣恵一	愛光園

39	30.10.10	安全運転管理者法定講習	一般社団法人 栃木県安全運転管理者協議会	高橋啓介	陽光園
				羽深智敬	足利愛光園
40	30.10.10	福祉新聞フォーラム／福祉法人の経営と管理	福祉新聞社	川俣恵一	愛光園
41	30.10.12	虐待防止と権利擁護研修会	栃木県 社会福祉士会	川俣恵一	愛光園
42	30.10.13 20.10.14	セルフ協 課題別専門研修会	全国セルフ協	川俣聡司	陽光園
43	30.10.16	安全運転管理者法定講習	一般社団法人 栃木県安全運転管理者協議会	押山大徳	ホームかがやき
44	30.10.19	虐待防止と権利擁護研修会	栃木県 社会福祉士会	川俣恵一	愛光園
45	30.10.20	栃木県障害福祉振興連盟との合同研修会	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会	川俣恵一	愛光園
46	30.10.23	平成 30 年度ひきこもりサポーター継続研修	栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センターポラリス・とちぎ	川俣弘美	彩光園
47	30.10.26	平成 30 年度社会福祉施設長研修会	栃木県社会福祉協議会福祉人材研修センター	川俣弘美	彩光園
				堀越信行	足利愛光園
				星美津男	愛光園
48	30.10.30 30.10.31	児童発達支援管理責任者研修	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会	瀬山晋平	なないろ
49	30.11.7～ 30.11.9	平成 30 年度 日本セルフ士会視察研修会	日本セルフ士会	川俣聡司	陽光園
50	30.11.21 30.11.22	栃木県サービス管理責任者研修 地域生活(就労)	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会	川井良太	愛光園
				瀬山晋平	なないろ
				舘野真弓	愛光園
51	30.11.21	平成 30 年度足利市社会福祉施設代表者協議会視察研修	足利市社会福祉施設代表者協議会	羽深智敬	足利愛光園
				川俣恵一	愛光園
52	30.11.22	社会福祉施設経営実務セミナー	独立行政法人福祉医療機構	北詰智規	共働舎
53	30.11.29 30.11.30	平成 30 年度 日中活動支援部会全国大会	公益財団法人日本知的障害者福祉協会	佐藤圭	ラクーン
				高橋啓介	陽光園
54	30.11.30	基板事業研修	のんびり AXIS 新潟県基板ネットワーク事務局	藤田勝美	ラクーン
55	30.12.5	リハビリテーション看護研修会 知的・発達障害コース	国立障害者リハビリテーションセンター	機村悦代	ラクーン

56	30.12.8 30.12.9	就労支援フォーラム NIPPON2018	日本財団	深羽智敬	愛光園
				久保全功	愛光園
				佐藤由佳理	共働舎
				渡辺幸恵	彩光園
57	30.12.11	介護にまつわるセミナー	積水ハウス株式会社	川俣恵一	愛光園
58	30.12.18	平成 30 年度全国地域生活定着支援センター 関東、甲信越ブロック研修会	一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会 関東甲信越ブロック	野本嘉之	ホームひだまり
59	31.1.8	平成 30 地域共生社会シンポジウム	栃木県・社会福祉法人栃木県社会福祉協議会	川俣恵一	愛光園
60	31.1.15 31.1.16	平成 30 年度 リーダー養成ゼミナール 修了生 フォローアップ研修会	日本セルフ士会	川俣聡司	陽光園
61	31.1.17	平成 30 栃木県障害施設・事業協会 施設長研修会	特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会	川俣恵一	愛光園
62	31.1.18 30.1.25	平成 30 年度 栃木県障害者虐待防止・権利擁護研修	一般社団法人 栃木県社会福祉工会	高橋啓介	陽光園
63	31.1.30	ひきこもり・不登校講習会	生活相談支援センター「のぞみ」 (鹿沼市社協)	川俣弘美	彩光園
64	31.2.1	平成 30 年度栃木県セルフ研修会	栃木県社会就労センター協議会	川俣聡司	陽光園
				川俣恵一	愛光園
65	31.2.1	外国人介護人材受入準備セミナー	群馬県 障がい政策課	藤田勝美	ラクーン
66	31.2.10	クリーニング業務従事者講習	公益財団法人栃木県生活衛生営業指導センター	篠原孝	彩光園
67	31.2.20	第 6 社会福祉法人三和会公開セミナー	社会福祉法人三和会	川俣恵一	愛光園
68	31.2.22	組織力強化のための管理研修	佐野商工会議所 経営支援課	川俣弘美	彩光園
69	31.2.23	第 22 回福祉レクリエーションセミナー	足利市レクリエーション協会	永野小百合	陽光園
				菅原浩太郎	陽光園
70	31.2.25	ひきこもりと発達障害の理解と支援	栃木県精神保健福祉センター	川俣弘美	彩光園
71	31.2.25	平成 30 障害福祉事業経営セミナー	全国社会福祉法人経営者協議会	川俣恵一	愛光園
72	31.2.26	栃精支協 精神障害者支援基本研修 フォローアップ研修	特定非営利活動法人 栃木県精神障害者支援事業協会	渡辺幸恵	彩光園
73	31.2.28	平成 30 年度 第 6 回清水基金国内研修	清水基金	佐藤圭	ラクーン
74	31.3.6	地場産センター 人材育成セミナー OJT トレーナー養成コース	公益財団法人栃木県南地域地場産業振興センター	川井良太	愛光園

事業所別職員数(平成31年3月31日現在)

			男			女			合計			平均年齢	平均在籍期間
			常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計	常勤	非常勤	合計		
山川	足利愛光園	生活介護	2	2	4	2	0	2	4	2	6	49.3	7.86
		B	4	1	5	1	4	5	5	5	10	51.5	7.36
	あすか		2	0	2	4	4	8	6	4	10	57.0	10.55
	その他		0	0	0	2	0	2	2	0	2	48.5	1.67
小計			8	3	11	9	8	17	17	11	28		
あづま	彩光園	生活介護	0	5	5	3	1	4	3	6	9	57.1	5.57
		彩	1	0	1	2	3	5	3	3	6	47.5	6.06
		B	3	3	6	0	3	3	3	6	9	52.4	3.11
	かがやき		1	3	4	6	4	10	7	7	14	61.6	6.74
	なないろ		0	1	1	4	8	12	4	9	13	53.5	2.62
	その他		1	0	1	0	0	0	1	0	1	63.0	1.67
小計			6	12	18	15	19	34	21	31	52		
六郷	セレッソ館		2	0	2	3	4	7	5	4	9	57.6	3.03
	ラクーン		4	5	9	3	7	10	7	12	19	48.0	4.19
小計			6	5	11	6	11	17	12	16	28		
アイタウン	ほのか		1	1	2	4	4	8	5	5	10	59.8	4.45
	ひだまり		2	1	3	2	7	9	4	8	12	58.9	5.53
小計			3	2	5	6	11	17	9	13	22		
稲岡	愛光園		5	0	5	2	7	9	7	7	14	52.1	10.57
	共働舎		1	2	3	6	4	10	7	6	13	53.2	9.90
	その他		1	0	1	0	0	0	1	0	1	48.0	1.67
小計			7	2	9	8	11	19	15	13	28		
稲岡介護	陽光園	生活介護	12	5	17	7	6	13	19	11	30	43.7	6.37
		入所	0	1	1	2	0	2	2	1	3	56.0	6.75
	サンリット		0	0	0	2	1	3	2	1	3	47.0	11.22
小計			12	6	18	11	7	18	23	13	36		
大久保	一歩		1	1	2	2	4	6	3	5	8	55.8	7.66
小計			1	1	2	2	4	6	3	5	8		
猿田	フルーエ		3	3	6	5	2	7	8	5	13	46.2	3.79
	共生		2	0	2	1	0	1	3	0	3	42.0	14.67
小計			5	3	8	6	2	8	11	5	16		
地域	相談支援		2	0	2	0	0	0	2	0	2	37.5	13.13
小計			2	0	2	0	0	0	2	0	2		
合計			50	34	84	63	73	136	113	107	220	52.0	6.50

平成 30 年度補助事業の活用状況

補助団体	事業所（施設）	事業名または内容	事業予算・補助額	完了日
一般社団法人 環境共創 イニシアチブ	稲岡事業所 陽光園	省エネルギー設備の導 入・運用改善による中小 企業等の生産性革命促進 事業 温水ボイラーの入れ替え	総額：4,320,000 補助：1,200,000	H30 年 8 月 26 日
社会福祉法人 栃木県共同募 金会	山川事業所 足利愛光園	共同募金分配金 送迎車両の導入 トヨタハイエース	（予定） 総額：4,023,750 補助：1,000,000	（予定） R1 年 8 月